

第二部 活動報告

2020/7/9

会員 69名

部長:石川冬木 副部長:平井みどり 幹事:武田洋幸、丹下 健

分野別委員会	委員長	分科会数 98
第二部生命科学における公的研究資金のあり方検討分科会	石川 冬木	1
第二部生命科学ジェンダー・ダイバーシティ分科会	平井 みどり	1
第二部大規模感染症予防・制圧体制検討分科会	秋葉 澄伯	1
基礎生物学委員会	城石 俊彦	15
統合生物学委員会	巖佐 庸	7
農学委員会	大杉 立	14
食料科学委員会	澁澤 栄	9
基礎医学委員会	甲斐 知恵子	11
臨床医学委員会	神尾 陽子	14
健康・生活科学委員会	片田 範子	8
歯学委員会	丹沢 秀樹	4
薬学委員会	望月 眞弓	6
環境学委員会	高村 ゆかり	7

部会における主たる議題(2019年10月16～17日開催)

- ① 令和2年度の第二部関連予算計画
- ② 認知障害に関する包括的検討委員会(課題別委員会)
- ③ ゲノム編集技術に関する分科会(科学者委員会)
- ④ ゲノム医療・精密医療の推進に関する緊急提言
(ゲノム科学分科会)
- ⑤ 学協会連携
- ⑥ 第二部生命科学ジェンダー・ダイバーシティ分科会
- ⑦ 日本の展望2020
- ⑧ 25期会員・連携会員選考

第二部が直接統括する分科会

◆ 第二部生命科学ジェンダー・ダイバーシティ分科会

- 第3回分科会(2019年10月16日)、第4回分科会(2019年2月24日)
- 生命科学分野の現状について
医学系、薬学系、看護学系、理学系、家政学系、農学系の各分野の委員から報告
- 各分野の状況が多様なため、アカデミアの課題に絞り課題解決について議論
- 公開シンポジウム「**生命科学分野におけるジェンダー・ダイバーシティに関する課題と今後の展望**」を令和2年8月10日(月・振替休日)13:00～17:30に
日本学術会議講堂において開催予定
- 男女共同参画分科会(三成美保委員長)提言、「生命科学分野の男女共同参画の現状と課題」について執筆協力

第二部が直接統括する分科会

◆ 第二部大規模感染症予防・制圧体制検討分科会 (2月27日設置)

・3月6日日本学術会議幹事会声明

「新型コロナウイルス感染症対策に関するみなさまへのお願いと、
今後の日本学術会議の対応」

・委員長 第二部 秋葉澄伯会員

・ミッション

- 今後必ず起こる大規模感染症の流行を予防・制圧するために、必要な国内の体制の整備等に関する提言を発出するための検討
- 必要な国際連携と協働について対応
- 新型コロナウイルス感染症に対する我が国の対応を発信する特設HPを開設：
各都道府県が収集公開している疫学的データリストのポータルサイト(英語)

・これまでに6回の分科会を開催(4/9、5/11、5/26、6/9、6/19、7/1)

・(提言)「感染症の予防と制御を目指した常置組織の創設について」

7月3日に公表

Information on important infectious diseases including COVID-19 in Japan

This homepage presents documents, including statements and proposals, related to important infectious diseases in Japan which were prepared by Science Council of Japan. In addition, the site provides information on official materials regarding COVID-19 outbreaks in Japan which are not easy for foreign researchers to access.

Please visit the following site for more information. The Science Council of Japan shall not be responsible for the accuracy or reliability or currency of the information in this Web site, or for any consequence resulting from use of the information in this Website.

Introduction to official documented materials on regional COVID-19 outbreaks in Japan

東京都 新型コロナコールセンター相談件数

the daily number of calls at the COVID-19 Call Center of Tokyo Metropolitan Government

URL: https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/data/130001_tokyo_covid19_call_center.csv (外部リンク)

東京都_新型コロナ受診相談窓口相談件数

the daily number of consultation at the COVID-19 Consultation Desk of Tokyo Metropolitan Government

URL:

https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/in/data/130001_tokyo_covid19_combined_telephone_advice_center

Information on the ▶ COVID-19 epidemic in Japan

Introduction to official materials on regional COVID-19 outbreaks in Japan

- ▶ [東京都 新型コロナコールセンター相談件数](#)
- ▶ [東京都 新型コロナ受診相談窓口相談件数](#)
- ▶ [Links to public portal sites on COVID-19](#)
- ▶ [Statements, proposals and other official messages from the Science Council of Japan](#)
- ▶ [Partnership with G Science](#)



Introduction to official documented materials on regional COVID-19 outbreaks in Japan

東京都 新型コロナコールセンター相談件数

the daily number of calls at the COVID-19 Call Center of Tokyo Metropolitan Government

URL: https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/data/130001_tokyo_covid19_call_center.csv (外部リンク)

東京都_新型コロナ受診相談窓口相談件数

the daily number of consultation at the COVID-19 Consultation Desk of Tokyo Metropolitan Government

URL:

https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/data/130001_tokyo_covid19_combined_r.csv (外部リンク)

全国地方公共団体コード	都道府県名	市区町村名	受付_年月日	曜日	相談件数
130001	東京都		2020-01-29	水	23
130001	東京都		2020-01-30	木	324
130001	東京都		2020-01-31	金	402
130001	東京都		2020-02-01	土	276
130001	東京都		2020-02-02	日	193
130001	東京都		2020-02-03	月	339
130001	東京都		2020-02-04	火	227
130001	東京都		2020-02-05	水	246
130001	東京都		2020-02-06	木	17
130001	東京都		2020-02-07	金	1



Introduction to official documented materials on regional COVID-19 outbreaks in Japan

東京都 新型コロナコールセンター相談件数

the daily number of calls at the COVID-19 Call Center of Tokyo Metropolitan Government

URL: https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/data/130001_tokyo_covid19_call_center.csv (外部リンク)

東京都_新型コロナ受診相談窓口相談件数

the daily number of consultation at the COVID-19 Consultation Desk of Tokyo Metropolitan Government

URL:

https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/data/130001_tokyo_covid19_combined_r.csv (外部リンク)

variable names, which are the same in all those two files:

A (全国地方公共団体コード) : municipality code(this file is on

B (都道府県名): prefecture name (this file is only for Tokyo)

C (市区町村名):municipality name(not given)

D (受付_年月日): the date of call

E (曜日) : day of the week

F (相談件数): the number of calls per day

*Please visit the following site for more information.

https://www.metro.tokyo.lg.jp/english/topics/2020/0128_00.html

全国地方公共団体コード	都道府県名	市区町村名	受付_年月日	曜日	相談件数
130001	東京都		2020-01-29	水	23
130001	東京都		2020-01-30	木	324
130001	東京都		2020-01-31	金	402
130001	東京都		2020-02-01	土	276
130001	東京都		2020-02-02	日	193
130001	東京都		2020-02-03	月	339
130001	東京都		2020-02-04	火	227
130001	東京都		2020-02-05	水	246
130001	東京都		2020-02-06	木	17
130001	東京都		2020-02-07	金	1

第二部大規模感染症予防・制圧体制検討分科会 名簿

役 職	氏 名	所 属 ・ 職 名	
幹事	糠塚 康江	東北大学名誉教授	第一部会員
委員長	秋葉 澄伯	弘前大学特任教授・鹿児島大学名誉教授	第二部会員
	小松 浩子	日本赤十字九州国際看護大学 学長	第二部会員
	高井 伸二	北里大学副学長・獣医学部長	第二部会員
副委員長	平井みどり	兵庫県赤十字血液センター所長	第二部会員、 副部長
幹事	徳田 英幸	国立研究開発法人 情報通信研究機構 理事長	第三部会員、 副部長
	磯部 哲	慶應義塾大学大学院法務研究科教授	連携会員
	田中 純子	広島大学大学院医歯薬保健学研究科教授	連携会員
	宇田 英典	(公社法)地域医療振興協会 地域医療研究所 ヘルスプロモーション研究センター シニアアドバイザー	特任連携会員
	舘田 一博	東邦大学医学部教授	特任連携会員

新型コロナウイルス感染症の世界的流行に係る 各国アカデミーとの学術的連帯など

1. G Science, joint statement, 2020

“The Critical Need for International Cooperation During Covid-19 Pandemic” (4月8日公表)

共同声明のテーマCOVID-19に関して、日本学術会議としての意見を取りまとめた。

2. S20 communiqué, 2020

新型コロナウイルス対策が主要なテーマとなるサブテーマFuture of Healthの議論に参加

3. IAP webinar

Sustainable Health Equity Movement

“The Ethical Principle of Equity in the Response to the Pandemic and Beyond”

郡山千早特任連携会員が参加

第二部が主体的に関与する課題別委員会

◆ 認知障害に関する包括的検討委員会

- 委員長 第二部会員 寶金 清博
- 第2回(令和元年5月27日)、第3回(8月15日メール審議)、第4回(9月24日)、第5回(10月16日)、第6回(令和2年6月3日メール審議)
- 令和2年2月14日 **学術フォーラム「認知症---予防と共生に向けて学術の取り組み」**を開催
- 上記フォーラムの成果及び今期の議論を総括・集約し、**「認知症に対する学術の役割 --「共生」と「予防」に向けて--**」をテーマとした提言を第24期に発出するべく準備中

第二部が主体的に関与する科学者委員会分科会

- ◆ ゲノム編集技術に関する分科会（武田洋幸委員長）
 - 日本学術会議・学術フォーラム「ゲノム編集技術のヒトへの応用について考える」を開催
2019年11月24日（日）（於：日本学術会議講堂）
いのちと心を考える分科会（第一部）と連携
 - 日本学術会議・提言「ゲノム編集技術のヒト胚等への臨床応用に対する法規制のあり方について」 2020年3月27日公表
 - 米国NAS/NAM、イギリス王立協会が主導して開催する
"International Commission on the Clinical Use of Human Germline Genome Editing" へ代表委員(阿久津秀憲 特任連携会員)を派遣
最終報告書「Heritable Human Genome Editing」を作成中

関連学協会との連携

- 日本医学会連合

新型コロナウイルス感染症への対応・専門医数シーリング、など密接に連携を進めている

- JST研究開発戦略センター(CRDS)
ライフサイエンス・臨床医学ユニット

日本の研究力の向上に向けたアカデミアからの発信を行政へつなぐ

10月19日(土)、同ユニットメンバー(谷口維紹・永井良三 上席フェロー他)と第二部役員等が意見交換

提言等の発出1 (2019年10月～2020年7月)

◆(提言)「**持続可能な生命科学のデータ基盤の整備に向けて**」

(基礎生物学委員会・統合生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・薬学委員会・情報学委員会合同バイオインフォマティクス分科会、令和元年11月18日)

◆(提言)「**専攻医募集シーリングによる研究力低下に関する緊急提言**」

(臨床医学委員会、令和2年1月15日)

◆(提言)「**口腔疾患の予防・治療・保健教育の場を喫煙防止・禁煙支援に活用すべきである**」

(健康・生活科学委員会・歯学委員会合脱タバコ社会の実現分科会、令和2年3月13日)

◆(提言)「**マイクロプラスチックによる水環境汚染の生態・健康影響研究の必要性とプラスチックのガバナンス**」

(健康・生活科学委員会・環境学委員会合同環境リスク分科会、令和2年4月7日)

提言等の発出2 (2019年10月～2020年7月)

- ◆(提言)「**アディクション問題克服に向けた学術活動のあり方に関する提言**」(臨床医学委員会アディクション分科会・脳とこころ分科会・基礎医学委員会神経科学分科会、令和2年4月15日)
- ◆(提言)「**アフリカ豚熱対策に関する緊急提言**」
(危機対応科学情報発信委員会 医療・健康リスク情報発信分科会、食料科学委員会 獣医学分科会、農学委員会・食料科学委員会合同食の安全分科会、令和2年4月16日)
- ◆(提言)「**地球温暖化対策としての建築分野での木材利用の促進**」
(農学委員会委員会林学分科会、令和2年6月19日)
- ◆(提言)「**感染症の予防と制御を目指した常置組織の創設について**」
(第二部大規模感染症予防・制圧体制検討分科会、令和2年7月3日)

シンポジウム等1 (2019年10月～2020年7月)

第二部においては、2019年10月から2020年7月の期間中、14件の公開シンポジウムを開催した。

開催日	名称	開催場所	委員会・分科会
令和元年 10月5日(土)	「食の安全と社会;科学と社会の対話」	日本学術会議 講堂	食料科学委員会獣医学分科会、 農学委員会・食料科学委員会 合同食の安全分科会、農学委 員会・食料科学委員会合同遺 伝子組換え作物分科会
令和元年 10月14日(月・祝)	「口腔と全身のネットワーク ～最先端研究— 免疫・神経・内分泌～」	東京歯科大学	歯学委員会基礎系歯学分科会
令和元年 10月22日(火・祝)	「第一線で活躍する研究者と語り合おう！ 生 命科学の魅力を語る 高校生のための集い」	北海道大学医 学部学友会館 フラテ	基礎生物学委員会・統合生物 学委員会合同制帽生物学分科 会、基礎医学委員会形態・細胞 生物医科学分科会
令和元年 10月24日(木)	「養豚において現場で実践可能な最新技術」	新白信ビル イベントホール	食料科学委員会畜産学分科会
令和元年 10月28日(月)	「人工知能時代の放射線画像診断・病理診断 と専門医のあり方」	日本学術会議 講堂	臨床医学委員会放射線・臨床 検査分科会
令和元年 10月30日(水)	「気候変動適応に関する農業分野(民間)の取 り組み」	北海道大学農学 部4階大講堂	農学委員会農業生産環境工学分 科会、環境学委員会環境科学分科 会
令和元年 11月6日(水)	「国連の持続可能な海洋科学の10年—One Oceanの行動に向けて—」	笹川平和財団海 洋政策研究所国 際会議場	基礎生物学委員会・統合生物 学委員会合同海洋生物学分科 会、地球惑星科学委員会SCOR 分科会

シンポジウム等2 (2019年10月～2020年7月)

令和元年 11月9日(土)	「スポーツと脳科学」	日本学術会議 講堂	基礎医学委員会神経科学分科会、 臨床医学委員会脳と心の分科会
令和元年 11月30日(土)	「東日本大震災に係る食料問題フォーラム2019」	福島大学 L4 教室	農学委員会・食料科学委員会東日 本大震災に係る食料問題分科会
令和元年 11月30日(土)	「持続可能な百寿社会に貢献する植物保護科学」	東京大学農学 部2号館2階 化学第一教室	農学委員会植物保護科学分科 会
令和元年 12月7日(土)	「行動経済学・文化人類学・医療経済学から見たがん治療」	大阪国際会議場	臨床医学委員会腫瘍分科会
令和元年 12月19日(木)	「わが国の水産養殖の未来像」	日本学術会議 講堂	食料科学委員会水産学分科会
令和2元年 1月16日(木)	「複合曝露評価とHuman Biomonitoring」	日本学術会議 講堂	薬学委員会・食料科学委員会・ 基礎医学委員会合同毒性学分 科会
令和2元年 1月17日(金)	「ゲノムビッグデータ解析の新潮流」	日本学術会議 講堂	薬学委員会生物系薬学分科会、 薬学委員会医療系薬学分科会
令和2年 6月27日(土)	「食力向上による健康寿命の延伸:補綴歯科の意義」	WEB開催	歯学委員会 歯学委員会臨床系歯学分科会

第三部報告

令和元年10月～令和2年6月

第三部部会(前回総会中) 10/16,17

第三部拡大役員会 11/28, 12/26, 1/30, 2/27, 4/30, 5/28, 6/25

部長	大野	英男
副部長	徳田	英幸
幹事	高橋	桂子
幹事	米田	雅子
副幹事	菱田	公一

第三部が直接統括する分野別委員会合同分科会

「科学技術の光と影を生活者との対話から明らかにする」分科会

委員長 徳田 英幸
副委員長 土井 美和子

8月6日公開シンポジウム(WEB開催予定)

「健康で長生きー未来社会を開くヘルステック・イノベーションー」

理工学ジェンダー・ダイバーシティ分科会

委員長 加藤 昌子
副委員長 森下 信

報告「理工学分野におけるジェンダーバランスの現状と課題」(R2.6.5公表)

理工系学協会の活動と学術情報に関する分科会

委員長 山口 周
副委員長 菱田 公一

提言「学術情報流通の大変革に向けた学術情報環境の再構築と国際競争力強化」
(今期公表を目指す)

分野別委員会

	委員長	副委員長
環境学委員会	高村 ゆかり	浅見 真理
数理化学委員会	坪井 俊	小澤 徹
物理学委員会	梶田 隆章	松尾 由賀利
地球惑星科学委員会	藤井 良一	田近 英一
情報学委員会	徳田 英幸	東野 輝夫
化学委員会	加藤 昌子	茶谷 直人
総合工学委員会	吉村 忍	大倉 典子
機械工学委員会	藤井 孝藏	厨川 常元
電気電子工学委員会	大西 公平	波多野 睦子
土木工学・建築学委員会	米田 雅子	前川 宏一
材料工学委員会	山口 周	片岡 一則

令和元年10月～令和2年6月の活動

1. 第三部会での議論(10月16日、17日)

○「理工系学協会の活動と学術情報に関する分科会」の話題提供と議論

第三部会では、各学協会の規模と学術誌の発行、学術情報をめぐる状況への危機感、論文・データのフェアネスといった事項等について、意見交換を行った。分科会からの話題は次である。

「ジャーナル出版をめぐる環境は、オープンアクセス、オープンサイエンスの進展で、今後10年間に大きく変わる。日本発のジャーナルはこれまで長く低迷していたが、オープン化の波に乗り、最後の巻き返しのチャンスを掴まなければならない。そのためには、海外の大手出版社と日本の一括契約が行える組織、日本のトップジャーナルの育成、複数の学協会が連携してジャーナルを出す体制、オープンサイエンスに向けたデータ環境整備などが重要である。学協会の統合と規模拡大についても検討すべきである」

2. 提言等の発出1（2019年10月～2020年7月）

提言「マイクロプラスチックによる水環境汚染の生態・健康影響研究の必要性とプラスチックのガバナンス」(R2.4.7公表)

提言「長期の温室効果ガス大幅排出削減に向けたイノベーションの加速」
(R2.5.12公表)

報告「地球惑星科学分野における科学・夢ロードマップ(改訂)2020」
(R2.5.15公表)

提言「災害が激化する時代に地域社会の脆弱化をどう防ぐか」(R2.5.26公表)

提言等の発出2（2019年10月～2020年7月）

報告「理工学分野におけるジェンダーバランスの現状と課題」(R2.6.5公表)

提言「日本の停滞を打破し新産業創出を促す社会基盤と研究強化～応用物理からの提言～」(R2.6.16公表)

提言「パワーレーザー技術と高エネルギー密度科学の量子的飛躍と産業創成」(R2.6.16公表)

提言「低平地等の水災害激甚化に対応した適応策推進上の重要課題」(R2.6.17公表)

提言等の発出3（2019年10月～2020年7月）

提言「初等中等教育および生涯教育における地球教育の重要性：変動する地球に生きるための素養として」(R2.6.23公表)

提言「長寿社会における脱炭素健康住宅への道筋」(R2.6.23公表)

提言「原子力安全規制の課題とあるべき姿」(R2.6.30公表)

提言「化学・情報科学の融合による新化学創成に向けて」(R2.7.7公表)

提言等の発出4（2019年10月～2020年7月）

提言「サステナブルで個人が主体的に活躍できる社会を構築するサービス学」(R2.7.7公表)

報告「東京電力福島第一原子力発電所事故による環境汚染の調査研究の進展と課題」(R2.7.7公表)

提言「持続可能な人間社会の基盤としての我が国の地球衛星観測のあり方」(R2.7.14公表予定)

提言「工学システムの社会安全目標の新体系」(R2.7月公表予定)

提言等の発出5（2019年10月～2020年7月）

提言「人類の未来を開くフロンティア人工物工学の展開のために」(R2.7月公表予定)

提言「より良い近未来創造のためのロボットAIの理解と人材育成」(R2.7月公表予定)

提言「新学習指導要領下での算数・数学教育の円滑な実施に向けた緊急提言：統計教育の実効性の向上に焦点を当てて」(R2.7月公表予定)

提言「気候変動に伴う激甚化する災害に対しグリーンインフラを活用した国土形成により“いのちまち”を創る」(R2.7月幹事会附議予定)

提言等の発出6（2019年10月～2020年7月）

報告「工学システムに対する安心感と社会」(R2.7月幹事会附議予定)

提言「物理学分野における専門性に基づく教育研究(DBER)の推進」
(R2.7月幹事会附議予定)

報告「科学的知見の創出に資する可視化—文理融合研究と新パラダイム
策定—」(R2.7月幹事会附議予定)

提言「学術情報流通の大変革に向けた学術情報環境の再構築と国際
競争力強化」(幹事会附議予定)

3. シンポジウム開催1(2019年10月～2020年7月)

第三部および関連の分野別委員会の活動として19件のシンポジウムを開催(予定含む、内7件はWeb開催等)し、10件のシンポジウムを中止または延期した。

機械工学委員会

「第9回構造物の安全性・信頼性に関する国内シンポジウム
(JCOSSAR2019)」(R1.10.23～10.25)【日本学術会議講堂】

情報学委員会環境知能分科会

「百寿社会に生き残るための情報学的生存技術」
(R1.11.2)【芝浦工業大学】

総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会

「再生可能エネルギー導入の次段階に向けて」
(R1.11.7)【日本学術会議講堂】

シンポジウム開催2

情報学委員会情報ネットワーク社会基盤分科会、情報学委員会ユビキタ
ス状況認識社会基盤分科会、情報学委員会ビッグデータ分科会
「Society5.0時代のCPS」(R1.11.15)【日本学術会議講堂】

総合工学委員会・機械工学委員会合同フロンティア人工物分科会
「宇宙・空・海ーフロンティア人工物科学シンポジウム」
(R1.11.29)【日本学術会議講堂】

総合工学委員会原子力安全に関する分科会
「原子力総合シンポジウム」
(R1.12.2)【日本学術会議講堂】

総合工学委員会・機械工学委員会合同力学基盤工学分科会
「第5回理論応用力学シンポジウム～力学と新学術の融合Ⅱ～」
(R1.12.9)【日本学術会議講堂】

シンポジウム開催3

総合工学委員会・機械工学委員会合同計算科学シミュレーションと工学
設計分科会 「第9回計算力学シンポジウム」
(R1.12.11)【日本学術会議講堂】

総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会
「科学的知見の創出に資する可視化(3):新しい文理融合研究を創出する
可視化」(R1.12.15)【立命館大学・大阪いばらきキャンパス】

地球惑星科学委員会地球・人間圏分科会
「地球環境変動と人間活動—世界各地で急速に深刻化する地球温暖化
の影響と対策—」(R1.12.21)【日本学術会議講堂】

情報学委員会
「第13回情報学シンポジウム」
(R2.1.9)【日本学術会議講堂】

シンポジウム開催4

総合工学委員会・機械工学委員会合同 計算科学シミュレーションと工学設計分科会「計算科学基盤強化に向けた国産ソフトウェア実用化の課題と期待—国産開発ソフトウェアの実用化・事業化における現実」(R2.2.7)【日本学術会議講堂】

総合工学委員会工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会
「安心感等検討シンポジウム—安心感とは?—」
(R2.2.29)【日本学術会議講堂】⇒WEB開催(R2.5.28)

土木工学・建築学委員会インフラ高度化分科会
「気候変動に対応した防災・減災のありかた」
(R2.3.4)【日本学術会議講堂】⇒開催延期

化学委員会・総合工学委員会・材料工学委員会合同触媒化学・化学工学分科会「2050年、持続可能なエネルギー社会を目指して」
(R2.3.5)【日本学術会議講堂】⇒開催延期

シンポジウム開催5

総合工学委員会

「総合工学シンポジウム2020— 文理の協創によって社会的課題に立ち向かう —」(R2.3.12)【日本学術会議講堂】⇒開催中止

経営学委員会・総合工学委員会合同サービス学分科会

「サービス化する社会とサービス学の教育実装: 高等教育を中心として」
(R2.3.12)【大阪成蹊大学相川キャンパス】⇒開催中止

心理学・教育学委員会・情報学委員会合同教育データ利活用分科会

「第2回ラーニングアナリティクスによるエビデンスに基づく教育に関するシンポジウム」(R2.3.15)【早稲田大学 早稲田キャンパス国際会議場 井深大記念ホール】⇒ライブ動画配信

土木工学・建築学委員会低頻度巨大災害分科会

「第9回防災学術連携シンポジウム 低頻度巨大災害を考える」
(R2.3.18)【日本学術会議講堂】⇒ライブ動画配信
(開催時アクセス約2400、視聴者約400)

シンポジウム開催6

数理科学委員会数学分科会
「データとAIの時代への数理科学」
(R2.3.25)【日本学術会議講堂】⇒開催中止

地球惑星科学委員会IUGS分科会
「チバニアン, その学術的な意義」
(R2.4.6)【日本学術会議講堂】⇒開催延期

土木工学・建築学委員会
「第66回構造工学シンポジウム」
(R2.4.18)【東京工業大学大岡山キャンパス西9号館】⇒開催中止

土木工学・建築学委員会
「第33回環境工学連合講演会」
(R2.5.19)【日本学術会議講堂】⇒開催延期

シンポジウム開催7

統合生物学委員会・環境学委員会自然環境保全再生分科会
「放棄農地を蘇らせる自然再生」(R2.5.22～23)【久保川イーハトーブ自然
再生協議会・久保川イーハトーブ自然再生研究所】⇒開催延期

地球惑星科学委員会IUGS分科会
「地質災害の研究とその調査方法の標準化に向けた取り組み」
(R2.5.23)【日本学術会議講堂】⇒開催延期

化学委員会
「分子科学研究所所長招聘会議「光り輝く博士課程卒業生」
(R2.6.3)【WEB開催】

総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する安全・安
心・リスク検討分科会
「安全工学シンポジウム2020」(R2.7.1～2)【WEB開催】

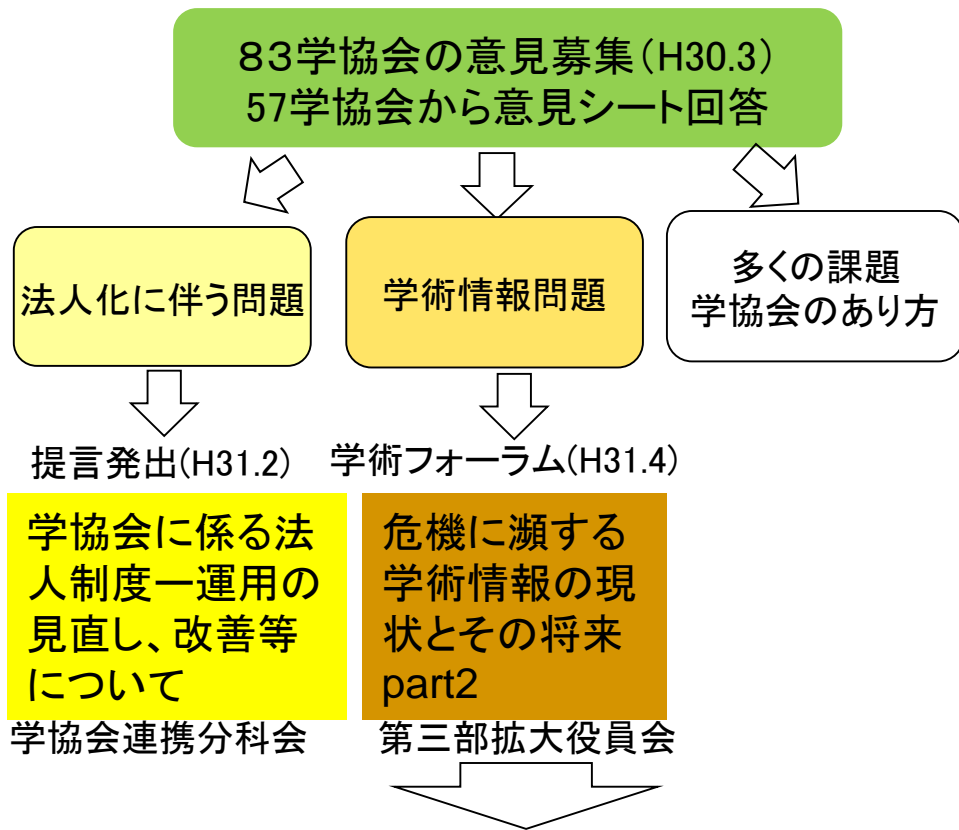
シンポジウム開催8

総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会
「科学的知見の創出に資する可視化(4):6エリアモデルと新たな計算パラダイム」(R2.7.4)【WEB開催】

科学技術の光と影を生活者との対話から明らかにする」分科会
「健康で長生きー未来社会を開くヘルステック・イノベーションー」
(R2.8.6)【WEB開催予定】

4. 理学・工学系学協会連絡協議会の開催

令和2年8月26日 10:00-12:00 WEB開催予定



理学・工学系学協会連絡協議会(83学協会)
日本学術会議第三部役員会のもとに、理学・工学系の学協会との連携を強め、双方の活動をさらに発展させるために、科学・技術、学協会、日本学術会議等に関わる課題について意見交換する場として設置。多くの学協会に共通する課題(新公益法人制度、学術論文誌の出版、若手・人材育成、財政等)、科学・技術全般に跨る課題、学協会から日本学術会議への意見・要望等について、情報交換・意見交換を行ってきた。

- 第1回 平成22年4月23日(金) 13:30～15:30
- 第2回 平成23年7月29日(金) 13:30～15:30
- 第3回 平成24年5月18日(金) 14:00～16:00
- 第4回 平成25年2月22日(金) 10:00～12:00
- 第5回 平成26年6月25日(水) 13:30～15:00
- 第6回 平成28年6月24日(金) 10:00～12:00
- 第7回 平成29年8月31日(木) 10:00～12:00
- 第8回 平成30年3月30日(金) 10:00～12:00
- 第9回 平成31年3月28日(木) 10:00～12:00
- 第10回 令和2年8月26日(水) 10:00～12:00

理工系学協会の活動と学術情報に関する分科会

提言「学術情報流通の大変革に向けた学術情報環境の再構築と国際競争力強化」

公開シンポジウム

健康で長生き

ー未来社会を開くヘルステック・イノベーションー

日本学術会議第三部会、九州・沖縄地区会議、国立大学法人九州大学 共同主催

令和2年 **8.6** (木) 13:00 - 17:40

来るべき高齢社会に、我々が健康に暮らすための新しい技術を生み出す「ヘルステック」は最も期待の高い技術分野である。現在のヘルステックは、データ解析、診断解析などIT技術が中心となっている。今般のコロナ対応の中でも、これら新技術の活用は世界各国で行われたが、個々人の権利への干渉や社会生活にも実害をもたらしかねない問題もはらんでいる。そのような中で、今後、新しい健康情報の取得技術、ヘルステック技術から解明される健康情報をもとに、健康な生活を維持できるための、人に優しい新しい技術が必要とされる。これからの社会を担う新しい価値の創造には、倫理面や幸福論まで踏まえた新しいヘルステック分野の創出が必要であろう。今後、真のイノベーションを生み出していくためには、産業界と学術界がより密接に連携できるような新しい基礎研究の方法論が必要となる。そこで、本シンポジウムでは、独自の研究成果を生み出している研究者や高齢社会を踏まえた価値創出に携わる研究者の講演を通して、これからのヘルステック研究は、何を生み出し、どうあるべきか、真の価値を生み出せる研究のあるべき姿を議論したい。

参加
無料

Web
開催

13:00 主催者挨拶

開会挨拶
久保 千春
九州大学総長
日本学術会議第三部、部長挨拶
大野 英男
日本学術会議第三部会会員・部長、東北大学総長
世話人挨拶
谷口 倫一郎
日本学術会議第三部会会員・九州・沖縄地区会議副代表幹事、九州大学大学院システム情報科学研究院教授

13:20 **基調講演** 「ナノメディシンが拓くヘルスイノベーション」
片岡 一則
日本学術会議第三部会会員、金鐘財団法人川崎市産学連携財団、ナノ医療イノベーションセンターセンター長

14:10 **講演** 「ナノの力で光を操るバイオイメージング」
玉田 薫
日本学術会議連環会員・九州・沖縄地区会議九州大学先端物質化学研究所主幹教授、副理事

14:50
15:10 休憩

15:10 **講演** 「化学プローブを精密にデザインして癌を光らせる！」
神谷 真子
東京大学大学院医学系研究科教授

15:40 **講演** 「人間のテクノロジーに対する適応能力からみたヘルステックイノベーションのあるべき姿」
村木 里志
九州大学大学院薬学工学研究科教授

16:10
16:20 休憩

16:20 総合討論
科学技術と社会、倫理：ポストコロナ時代を乗り越えるヘルステックの迅速な社会実装に向けた「共創」について考える
司会
君塚 信夫
日本学術会議第三部会会員、九州・沖縄地区会議代表幹事、九州大学大学院工学研究科主幹教授

話題提供 「社会の中の科学・社会のための科学」
小林 傳司
日本学術会議第一部会会員、大阪大学名誉教授
コメンテーター
片岡 一則
玉田 薫
神谷 真子
村木 里志
小林 傳司

17:30 閉会挨拶
山極 壽一
日本学術会議第二部会会員・会長、京都大学総長

17:40 閉会

参加申込方法
参加を希望される方は、**7/31(金)**までに下記URLまたは右のQRコードより事前申込みをお願いします。定員になり次第、事前申込みの受付は終了します。
<https://bit.ly/2Y0hEJi>

後 援：福岡市、公益社団法人 高分子学会、公益社団法人 日本化学会九州支部、日本DDS学会、日本バイオマテリアル学会

お問合せ：九州大学 研究・産学官連携推進部 研究企画課 研究総務係
電話番号：092-802-2193
メールアドレス：kissomu[a]jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学
KYUSHU UNIVERSITY